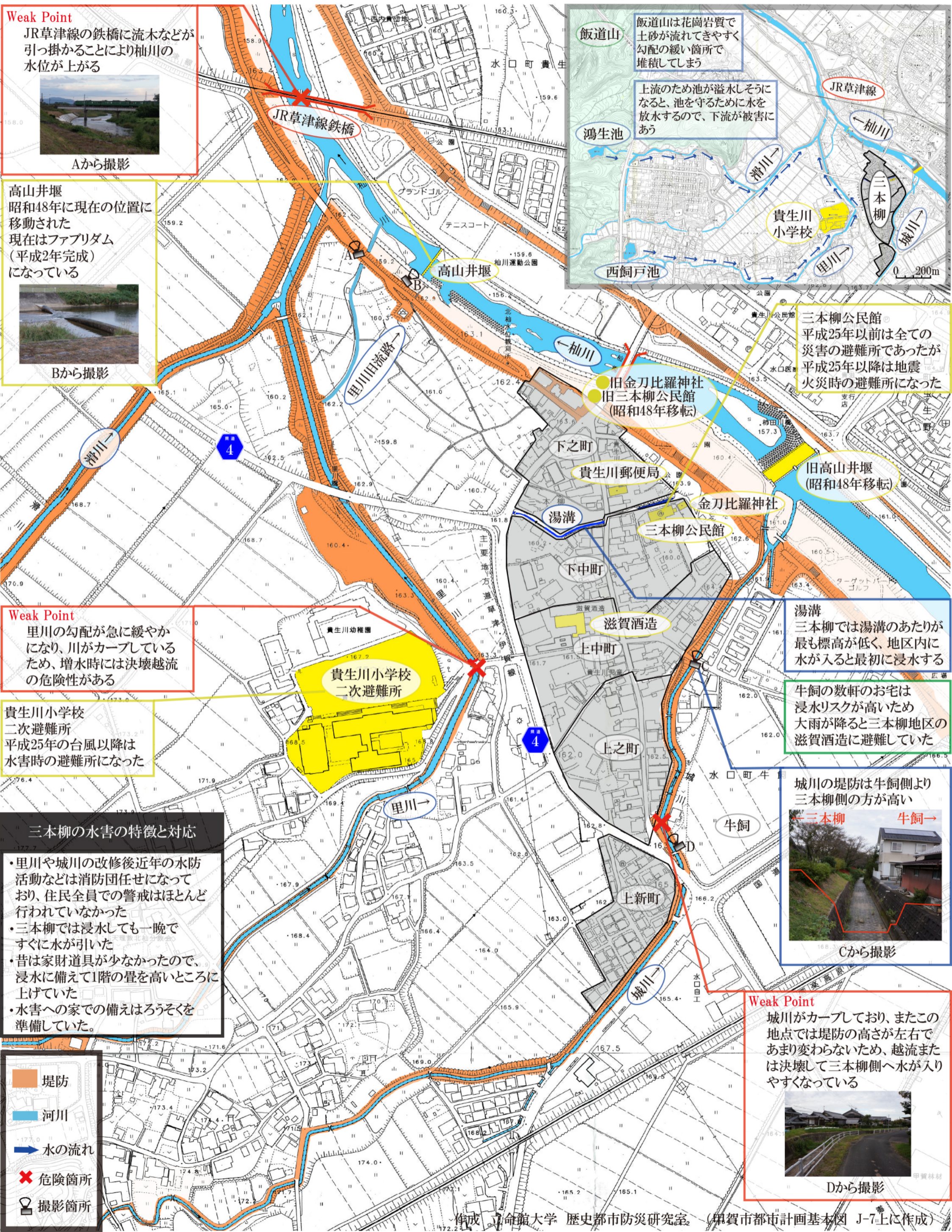


甲賀市三本柳水害履歴マップ その①

(H27.9.26 甲賀市三本柳公民館で行った聞き取り調査に基づき作成)

— 三本柳 地域特性 —

0 50 100m



Weak Point
JR草津線の鉄橋に流木などが引掛かることにより、川の水が上がる

Aから撮影

高山井堰
昭和48年に現在の位置に移動された
現在はファブリダム(平成2年完成)になっている

Bから撮影

飯道山
飯道山は花崗岩質で土砂が流れてきやすく勾配の緩い箇所ので堆積してしまう

鴻生池
上流のため池が溢水しそうになると、池を守るために水を放水するので、下流が被害にあう

西飼戸池

三本柳
三本柳公民館
平成25年以前は全ての災害の避難所であったが平成25年以降は地震火災時の避難所になった

Weak Point
里川の勾配が急に緩やかになり、川がカーブしているため、増水時には決壊越流の危険性がある

貴生川小学校 二次避難所
平成25年の台風以降は水害時の避難所になった

三本柳の水害の特徴と対応

- 里川や城川の改修後近年の水防活動などは消防団任せになっており、住民全員での警戒はほとんど行われていなかった
- 三本柳では浸水しても一晩ですぐに水が引いた
- 昔は家財道具が少なかったため、浸水に備えて1階の畳を高いところに上げていた
- 水害への家での備えはろうそくを準備していた。

湯溝
三本柳では湯溝のあたりが最も標高が低く、地区内に水が入ると最初に浸水する

牛飼の数軒のお宅
浸水リスクが高いため大雨が降ると三本柳地区の滋賀酒造に避難していた

城川の堤防は牛飼側より三本柳側の方が高い

Cから撮影

Weak Point
城川がカーブしており、またこの地点では堤防の高さが左右であまり変わらないため、越流または決壊して三本柳側へ水が入りやすくなっている

Dから撮影

Legend

- 堤防 (Dike)
- 河川 (River)
- 水の流れ (Water flow)
- 危険箇所 (Dangerous spot)
- 撮影箇所 (Photography spot)